

主催：介護の大切さと未来を考えるシンポジウム実行委員会

介護の大切さと未来を考えるシンポジウム

いま、介護福祉士の養成校では大幅な定員割れにより、募集停止や閉鎖になるところがどんどん出てきています。これは、介護労働者の低賃金劣悪な労働条件が背景にあるのではないのでしょうか。厚生労働省も来年度、介護報酬の見直しを検討していると報じられていますが、介護の現場は深刻な人手不足が進行しており、介護の未来はどうなるのでしょうか。

いまこそ、介護の未来について市民的に考えていくことが大切ではないのでしょうか。

介護福祉士養成校の方、介護の現場の方、介護サービスを利用している方などが一同に会して、シンポジウムを開催します。

みんなで介護の大切さと未来を考えていきましょう！

日時 11月29日(土) 13:00～16:00

会場 広島 YMCA 2号館 405号室(中区八丁堀)

プログラム

シンポジスト(予定)

- ・介護福祉士養成校の実情・・・上原 千寿子 氏(広島 YMCA 健康福祉専門学校長)
- ・高齢者福祉施設の運営の実情・・・藤井 紀子 氏(特養・慈光園施設長)
- ・ホームヘルパーの労働実態・・・介護福祉労働者連絡会及び介護福祉労組
- ・高齢者・障害者の生活の実情・・・介護サービス利用者の方
コーディネーター・・・石倉 康次 氏(立命館大学教授)

参加費 500円(学生は無料、学生証提示してください)

参加申し込み・・・事前申し込みは不要。

実行委員会事務局・・・介護保障を求めるひろしまの会

広島市中区大手町四丁目2-27-405

事務局連絡先：電話 082-243-9240

：Fax 082-243-9241